



広報

# たるい

業証書授与式

義務教育を終え、新たなステージへ



▲北中学校 第34回卒業証書授与式  
3月9日(火)、同校の63人が9年間の義務教育を終え卒業式を迎えました。



2012  
ぎふ清流国体  
輝けはたけ だれもが主役  
ぎふ清流大会  
垂井町では、軟式野球競技を開催します

2010  
平成22年

4

No.671

### 主な内容

●平成22年度予算	2~7
●自主自律した“協働のまちづくり”の実現に向けて!	8
●情報発信	10・11
●平成22年度保健センター年間事業予定	16・17
●4月25日「梅谷片山トンネル」開通!	31

# 平成22年度予算

## 総額143億9,157万円 (△2.5%)

一般会計 80億8,500万円 (△0.8%)

特別会計 55億4,457万円 (△2.6%)

企業会計 7億6,200万円 (△16.5%) ( )は前年度比

### 垂井町第5次総合計画

## 「やさしさと活気あふれる快適環境都市」

### の実現に向けて

平成22年度予算が、第2回定例町議会で審議、可決されました。

歳入予算については、極めて厳しい経済情勢から、町税収入は、前年度当初比4.7%減の3億2618万円。うち個人住民税は、12億5230万9千円(7.2%減)、法人町民税は、1億5138万円(35.9%減)、固定資産税は、19億3859万9千円(0.4%増)を見込みました。

一般会計全体に占める割合も43.7%と前年度より1.7ポイント減少しました。歳入の減少分は、地方交付税や臨時財政対策債などの町債の増額で対応しました。歳出については、事務事業を精査し経費の縮減を図り、住民ニーズを把握し、効率的かつ合理的な事務の執行に努めます。前例踏襲の既成概念にとらわれることなく、住民サービスの低下をきたさないよう知恵を絞り、「住民目線」による諸施策を立案し、経営感覚をもって事業執行を行い、限られた財源の中で行政効果の最大化を図ることを共通の認識とし

て予算編成を行いました。今年度の主な事業は、次のとおりです。

### まちづくりの柱1

#### 「安全・安心」

##### 交通安全

○交通ルール遵守の促進

交通指導員の設置

1,872千円

交通事故防止の徹底、啓発

100千円

○交通安全団体等との連携強化

町交通安全対策協議会の開催

不破地区交通安全協会垂井

連絡協議会などへの助成

490千円

○交通安全施設の整備

カーブミラー、回転灯の新

設・修繕

3,000千円

防護柵の新設・修繕

2,000千円

垂井栗原線(御所野交差点)

道路改良事業

1,050千円

##### 防犯

○自主防犯活動の促進

安全なまちづくり推進協議

会の開催

36千円

学校防犯巡回パトロールの

実施

1,469千円

安全・安心メール配信シス

テムの充実

709千円

○防犯施設の整備

街路灯の設置、修繕(LED

D灯)

7,830千円

○消費生活の充実

消費生活相談の実施

500千円

##### 消防・防災

○防災体制の向上

防災訓練の実施

500千円



▲防災訓練の実施

災害用備蓄用品の整備

400千円

自主防災組織リーダー研修

会の開催

30千円

防災行政無線施設整備基本

構想の策定

